

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 9 月 29 日 (2011.9.29)

【公表番号】特表 2010-536745 (P2010-536745A)

【公表日】平成 22 年 12 月 2 日 (2010.12.2)

【年通号数】公開・登録公報 2010-048

【出願番号】特願 2010-520684 (P2010-520684)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 K 38/16 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 8/64 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/24

A 6 1 P 17/02

A 6 1 K 37/04

A 6 1 P 9/10

A 6 1 K 8/64

A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 10 日 (2011.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

創傷治癒または結合組織再建をその必要性のある対象において促進するための医薬の製造におけるエリスロポイエチンとフィブロネクチンの使用であって、前記エリスロポイエチンの用量が創傷組織 1 cm^2 あたり約 $10 \sim 30 \mu\text{g}$ であり、前記フィブロネクチンの用量が創傷組織 1 cm^2 あたり約 $100 \sim 300 \mu\text{g}$ である、使用。

【請求項 2】

虚血をその必要性のある対象において処置するための医薬の製造におけるエリスロポイエチンとフィブロネクチンの使用であって、前記エリスロポイエチンの用量が組織 1 cm^2 あたり約 $10 \sim 30 \mu\text{g}$ であり、前記フィブロネクチンの用量が組織 1 cm^2 あたり約 $100 \sim 300 \mu\text{g}$ である、使用。

【請求項 3】

結合組織はコラーゲンを含む、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

前記エリスロポイエチンの用量が組織 1 cm^2 あたり約 $20 \mu\text{g}$ である、請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 5】

前記フィブロネクチンの用量が組織 1 cm^2 あたり約 $200 \mu\text{g}$ である、請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 6】

前記エリスロポイエチンおよび前記フィブロネクチンが共配合物に存在する、請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 7】

前記エリスロポイエチンおよび前記フィブロネクチンが別個の配合物に存在する、請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 8】

エリスロポイエチンを約 10 ~ 30 μg の用量で含む単位投薬形態物。

【請求項 9】

フィブロネクチンを約 100 ~ 300 μg の用量で含む単位投薬形態物。

【請求項 10】

約 100 ~ 300 μg の用量でフィブロネクチンをさらに含む、請求項 8 に記載の単位投薬形態物。

【請求項 11】

有効成分としての約 10 ~ 30 $\mu\text{g}/\text{ml}$ のエリスロポイエチン、および、局所投与のためのキャリアまたは希釈剤を含む組成物。

【請求項 12】

有効成分としての約 100 ~ 300 $\mu\text{g}/\text{ml}$ のフィブロネクチン、および、局所投与のためのキャリアまたは希釈剤を含む組成物。

【請求項 13】

約 100 ~ 300 $\mu\text{g}/\text{ml}$ のフィブロネクチンをさらに含む、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 14】

細胞外マトリックス成分、増殖因子、ホルモン、血管形成因子、凝固因子、サイトカイン、ケモカイン、酵素、神経伝達物質、ビタミン、炭水化物、イオン、鉄キレーター、脂肪酸、抗生物質およびアミノ酸からなる群から選択される因子をさらに含む、請求項 11 ~ 13 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 15】

(i) 有効成分としてのエリスロポイエチンおよびフィブロネクチン、ただし、前記エリスロポイエチンの濃度が約 10 ~ 30 $\mu\text{g}/\text{mL}$ であり、前記フィブロネクチンの濃度が約 100 ~ 300 $\mu\text{g}/\text{mL}$ である、

(ii) 約 0.20% のメチルパラベン、

(iii) 約 9% の Laureth およびイソパラフィンおよびポリアクリルアミド、

(iv) 約 12% の脱イオン水、ならびに、

(v) 100% までのリン酸塩緩衝液を含む配合物。